

令和4年度 地域福祉懇談会の開催報告

(令和4年11月末現在)

NO	地区社協	日程	会場	参加者等	話し合われた主な話題、共有事項
1	岩田	6月18日(土)	岩田交流センター	地区社協役員、ほっとな地域づくり仕掛け人、福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活不安、課題の解消(通院、草狩り等) ・健康に関する生活不安解消(健康寿命延伸) ・将来を見据えた地域活動の担い手づくり ・送迎サービスの充実 ・災害時、独居、高齢者世帯の避難
2	大藤	7月 (15自治会ごと)	15自治会 各会場	自治会長、副自治会長、福祉委員、民生委員・児童委員、班長、地区社協役員	<ul style="list-style-type: none"> ・大藤みんなの会、大藤こすもすの周知とサロン開催方法の検討(サロンの出張開催の検討) ・デマンドタクシーの利用促進と課題整理 ・移動販売の周知 ・要支援者を支援できるシステムづくり ・地域せいかつ応援倶楽部の検討
3	向笠	5月12日(木)	向笠交流センター	地区社協(福祉委員)、民生委員・児童委員、自治会長	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間づくり(孤立防止、サロンの在り方見直し) ・高齢者増による担い手の負担増 ・移動手段(高齢ドライバー、公共交通少ない) ・独居高齢者の支援(特に関係が希薄な方) ・懇談会報告会及び有志による対話の場づくり
4	見付	11月12日(土)	見付交流センター	地区社協会員(自治会長、福祉委員、民生委員・児童委員、シニアクラブ、ボランティア等)、高校生	<ul style="list-style-type: none"> ・『つながりをつくるために何ができるかな?』をテーマにした懇談会を開催。 ①支援が必要なのにたどり着けない、高齢者の人たちのとのつながり ②若い人の悩み、担い手不足への対策等若い人たちとのつながり ③お節介?構いすぎない?丁度いい加減の、ご近所とのつながり→若者やご近所と一緒に何かやる機会を持つことの大切さ。きっかけづくり
5	今之浦	10月4日(火)	今之浦記念館	地区長、民生委員・児童委員、福祉委員、サロン、子育て委員、地区活動経験者	<ul style="list-style-type: none"> ・くらしの中の福祉課題の共有・こんな活動があるといいなをテーマに開催。 ・今の浦公園の活用化 ・居場所、サロンの活性化 ・災害に対する不安 ・高齢者のSNS活用 ・地区としてのつながりづくり
6	西貝	9月6日(火)	西貝交流センター	地域づくり協議会福祉部役員等	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンドタクシーの利便向上 ・ワンストップで受け止める相談の必要性 ・ボランティア人材の確保、元気高齢者の活躍 ・コロナ禍を越えての活動再開の重要性 ・多世代を繋げるための仕掛け ・ジュビロ磐田とのコラボ企画
7	田原	8月20日(土)	田原交流センター	地区社協タスクミーティング委員、サロン・居場所実践者	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の担い手、次世代の若者育成 ・多様な居場所づくり、さりげない話し相手 ・コロナ禍を経た地域活動の再起動 ・移動手段、ちょっとした困りごとや生活支援 ・子育て世代のコミュニケーションの場の充実
8	御厨	令和3年 12月3日(金) 以後、継続実施	御厨交流センター	地域づくり協議会地域福祉部役員	<ul style="list-style-type: none"> ・応援倶楽部の支援員不足。 ・自治会等の人材不足(受け手がいない)。 ・共働き家庭の疲れ、地域行事へ参加するゆとりがない。 ・ゴミ出しに支援が必要な人の増加。 ・地域と接点を持たない人が多い。
9	南御厨	令和3年 10月9日(土) 12月11日(土) 以後、継続実施	南御厨交流センター	地域づくり協議会福祉部(地区社協)役員	<ul style="list-style-type: none"> ・移動に困難な住民の移送支援 ・ゴミ出し支援 ・担い手不足 ・埋もれている地域の人材発掘 ・世代間交流、親子ふれあいの場、若い人が集う場所

NO	地区社協	日程	会場	参加者等	話し合われた主な話題、共有事項
10	中 泉	7月17日(日)	iプラザ	自治会、地域づくり協議会福祉部、福祉委員、民生委員・児童委員、サロン、百歳体操、シニアクラブ、介護事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・常時気軽に集まれる居場所 ・横のつながり、関係づくり ・問題を未然に防ぐネットワークづくり ・移動手段に困っている方への移動支援 ・地域の実情把握 ・参加できない方へのサポート ・次世代ボランティアの人材育成
11	豊田東	中学生以上 全住民アンケートを活用 (地域づくり協議会にて取りまとめ)			2,709人から回答受付。現在集計と分析中。R5年1月22日にアンケート報告会を実施。地区の将来を考える機会とする。
12	富 岡	12月18日(日)	富岡交流センター		・12月18日懇談会予定
13	池 田	地域福祉活動者へのアンケートを実施 (取りまとめ後、分析結果を反映させる)			・アンケート実施 (民生委員・福祉委員・自治会役員へ)
14	井 通	7月20日(水)	井通交流センター	地区社協役員、福祉委員	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に集まれる居場所 ・子ども食堂開設の研究 ・移動手段に困っている方への移動支援 ・参加者を増やすための工夫 ・高齢者、子どもたちの見守り
15	青 城	10月1日(土)	青城交流センター	地域づくり協議会役員	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども食堂、おとな食堂、シニア食堂の研究 ・高齢者、ひきこもり者の居場所づくり ・支援を必要としている世帯の把握 ・サロンに男性の参加者を増やす工夫 ・子育て世帯の地域からの支援
16	長 野	中学生以上 全住民アンケートを活用 (地域づくり協議会にて取りまとめ)			<p>アンケートより</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地の維持・管理、持ち主不明の空き家の問題 ・買物、通院等の移動手段の問題 ・安全な通学路の確保、登下校の見守り ・見守り配食等、高齢者の生活支援 ・災害時に備えた防災活動 ・庭木、草刈、側溝清掃などの美化活動の人員確保
17	南	9月13日(火) 9月29日(木) 10月29日(土)	南交流センター	民生委員・児童委員、福祉委員、地域づくり協議会正副会長、地区社協役員	<p>9/13主に天竜地区、9/29主に於保地区に分け、課題だしを実施。10/29に合同で出された課題を元に懇談。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独居高齢者の生活環境課題(庭木、ゴミ出し、孤独死) ・交通手段の問題(通院・買い物・デマンドの不便さ) ・子育て世代の子育てと仕事の両立問題 ・人材不足(地域福活動者・サロン・自治会等) ・情報の周知方法、地域交流の場の減少
18	福 田	7月29日(金)	市福田支所	ふくでの福祉を推進する会、地域づくり協議会、民生委員・児童委員、福祉委員等	<ul style="list-style-type: none"> ・健康活動の継続 ・福田の魅力をPR。若者が住みたい思うまち ・買い物支援活動の継続、地域の支援・協力 ・地域の担い手不足 ・地域の希薄化。コロナでさらに交流が減った。孤立化。災害時にどうする？
19	竜 洋	6月22日(水) 6月24日(金)	竜洋交流センター	民生委員・児童委員、福祉委員、地区社協役員等	<ul style="list-style-type: none"> ・気軽に通院・買い物に行ける移動手段 ・地域のリーダー育成 ・参加しやすい環境、雰囲気作りが必要 ・意見交換する機会や考える場
20	豊 岡	5月19日(木)	豊岡中央交流センター	地域づくり協議会健康福祉部会員	<ul style="list-style-type: none"> ・ちょっと集まっておしゃべりできる居場所 ・子育て世代への支援、多世代交流 ・買い物、外出支援 ・地区を知り、魅力を伝える活動 ・後継者不足の解消

■福祉団体懇談会 報告

(令和4年11月21日現在)

対象	日程	話し合われた課題、共有事項
磐田市 手をつなぐ 育成会	11月9日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・親たちは悶々と考える。助けてくれる人がいない。行政や社協が民生委員を巻き込むのはわかる。ボランティア育成も分かるが、今その人たちが活かしているか？育てたボランティアが活躍しているか。地区社協に繋がることもあると思うが、どれだけ活動につながっているか？ ・コロナで活動の滞り。どう評価するか。 ・成人後の余暇活動をどう持ったらよいか。 ・地域共生社会の実現のために、中学生・高校生の関わりが必要では。 ・台風15号被害の対応で、多くのボランティアが活動。人のために動こうとする人がいるので、地域の人たちの力を活かす器が大切。 ・自宅が床下浸水。周辺の家は床上。お年寄りと声かけ合った。小さな声に耳を傾けていくこと。福祉の原点だと感じる。
磐田市 身体障害者 福祉会	11月12日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・従来のように支所に社協職員が配置されると、身近に相談できてよい地域での活動で連携できると良い。 ・認知症の人の増加。趣味を通して集まりに参加してもらうなど、支援を広げる必要がある。私自身もできる限り話をしたい。 ・スポーツ交流ができればよい。以前より若い人がいない。 ・自治会との関わりを具体的にしてほしい。関係が盛んになるように。
中遠地域 精神保健 福祉会 丹誠会	11月24日(木)	資料調整前の送付 (推進会議にて口頭説明)

■福祉専門機関アンケート報告（抜粋）

対象	回答いただいたご意見
磐田市社会福祉法人連絡会	<p style="text-align: center;">地域貢献活動 の中で特に力 を入れている 活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 【人材育成】 ・高校生、大学生等の介護実習受入れ、ボランティア受入れ ・中学生の授業講師派遣、福祉体験学習受入れ ・教員の福祉体験研修受入れ ・地域住民対象の福祉体験、施設見学受入れ ・認知症サポーターの養成 【まちづくり】 ・地域交流イベントに参加。福製品の販売やプログラムへの参加など。 ・地域福祉講演会の実施 ・夏まつりの地域の方の参加(コロナ前) 【生活困窮者支援】 ・生活困窮者の関わりは、住民の属性、世代を超えた包括的支援が必要です。法人としても、その課題に向き合い、地域住民が安心して生活できる地域づくりの一役を担うことを期待されていると受け止めています。
	<p style="text-align: center;">今後取り組み たい地域貢献 活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の存在を地域に浸透させることで、障害者の認識を深め、障害者に関する相談を気軽にできる施設として認識させる。 ・専門知識を活かした地域住民対象のセミナー等の開催 ・普段の生活の中で障害者と交流できる仕組みを考えていきたい。 ・地域の高齢者サロンの活動支援

対象	回答いただいたご意見	
<p data-bbox="229 1032 395 1093">地域包括支援センター</p> <p data-bbox="229 1182 395 1243">障害者相談支援センター</p>	<p data-bbox="419 1032 585 1167">相談機関として関わる中で増えてきたと感じる課題</p> <p data-bbox="419 1189 585 1227">対策の提案</p>	<p data-bbox="600 215 1342 327">【課題】8050問題の中でも、子が障害(何らかの精神疾患)を抱えるケース。 【対策】障害者に寄り添えるような支援者、ボランティアの検討。認サポのように、精神疾患の特長や対応方法などを理解促進</p> <p data-bbox="600 349 1342 461">【課題】高齢者の家族支援が必要な家庭が激増。課題が重層化。虐待、ネグレクトが増加。 【対策】高齢者の家族の自立支援。ACP、認知症等啓発。制度利用の他に、地域でのサポート(具体的に、小さい活動でも少しづつ増えると良い)</p> <p data-bbox="600 483 1342 663">【課題】独居男性の生活困窮者が増加している印象。複合的な問題を抱えている(年金収入が生保対象とならない、多重債務、働いて収入を得たが働く先がない、親族と絶縁、地域から孤立、健康問題 など) 【対策】高齢でも働ける就労先が増えると良い。サポート体制があるとなおよい。若いころからの健康意識を高めるような啓発や指導。若いころから地域の一員としての認識を持てるような地域づくり。</p> <p data-bbox="600 685 1342 797">【課題】精神疾患(人格障害か)、認知症、生活習慣病からの病気多数。アルコール依存。以前から、訴訟に発展するまでのご近所トラブル複数あり。親族とは険悪又は音信不通。自分の想いが通らないと激怒。日常的に暴言あり。地域から孤立。治療が必要な状態だが、介入が難しい。</p> <p data-bbox="600 819 1342 931">【課題】家族関係が希薄になっていて、受診等を包括や、障害相談の付き添いが必要になっている。金銭的にも困窮しているため、自費のヘルパーが利用できない。地域のせいかつ応援クラブでは負担が大きい。 【対策】安価で付き添いが頼めるサービスがあると良い</p> <p data-bbox="600 954 1342 1111">【課題】一般就労にも障害の就労サービスにもつながらない利用者がいる。就労ができるようになっても継続が難しい利用者もいて、度々就労先が変更になっている。 【対策】日雇いや単発の仕事ができるものがあると良い。そのよう多様な就労制度も作ってほしい。</p> <p data-bbox="600 1133 1342 1223">【課題】認知症、精神障害者で医療が必要でも、本人拒否が強く受診につながらない。途中で中断してしまう。家族が困っているケースがある。 【対策】往診等自宅に訪問して、相談に乗ってくれる精神科等が欲しい。</p> <p data-bbox="600 1245 1342 1357">【課題】障がい者の支援で介入すると介護が必要な同居家族もいて、障がい者の支援と、高齢者の支援をすることとなる。特に40代、50代の障がい者の親が疲弊している 【対策】介護保険の事業所との連携</p> <p data-bbox="600 1379 1342 1469">【課題】医療的ケアが必要な子どもの学校や園への登校、登園の制限が多い 【対策】独自のサービスの検討。学校等と課題について話し合う場の設置</p> <p data-bbox="600 1491 1342 1603">【課題】障がい者や障がいの様な特性を持つ方で、本人にその気はないが、近隣トラブルになってしまうケースがある。主に民生委員や、地域住民からの苦情をもらうことが多い。 【対策】障がいや、それに類する特性を持った方の理解を求める活動</p> <p data-bbox="600 1626 1342 1783">【課題】高齢者ではなく子の世代にひきこもりや障害があり、その課題が解決しないために高齢者の生活が困難になっているケースが増えている。子も中高年になっているので、長年放置されていて根が深い。 【対策】中高年のひきこもりに対する市職員や専門職等の学びの場を増やし、市全体としてもっと積極的に支援できる体制を目指す。</p> <p data-bbox="600 1805 1342 1939">【課題】精神疾患+α(認知症?)が疑われる人の支援。70代男性、独居。生活環境を周囲は心配するが、本人は支援を拒否。警察は認知症の疑いもあると指摘。本人の言動からは精神疾患もありそうだが、支援の見通しがたたない。 【対策】認知症カフェの常設</p> <p data-bbox="600 1962 1342 2074">【課題】認知症悪化予防のためにデイサービス以外の居場所、集いの場がない。 【対策】複合課題を抱えるケースに対して、多機関がチームを組んで関われる体制ができると良い</p>